

別紙 対話結果（概要）

民間事業者からの意見等を対話の対象項目別にまとめました。

参加グループ数：4グループ（不動産業、建設業、製造業）

※事業者のノウハウ等保護のため、公表にあたり参加事業者に内容を事前に確認しています。

事業の概要等	跡地の活用用途
	<ul style="list-style-type: none">・ 2階建て程度のテナント店舗・ オフィスビル・ 定期借地権付きの分譲マンション（店舗併用型も検討）
	賃貸借期間の希望
	<ul style="list-style-type: none">・ 20年程度・ 40～55年・ できるだけ長い方が望ましいが、50年でも可・ 70年以上が望ましいが、50年でも可
	既存地中杭の存置について
	<ul style="list-style-type: none">・ 建築コスト上昇の懸念がある・ 工事に支障がある杭については抜くこととなる・ テナント店舗であれば支障ない可能性が高い・ マンションは、杭を抜く必要から費用がかさむ恐れ有り・ 既存地中杭があることにより、必ずしも計画不可ということではないが、既存地中杭の位置がわからないため、現時点で判断はできない
意見	
<ul style="list-style-type: none">・ 人口減少・賑わい創出のため、店舗の用途が良いと思われる・ 周辺の立地を考えると、事業系の建物を建設することが望ましい・ 住居系用途の需要が高いと推測する・ マンション事業であれば、借地期間として70年が一般的である・ 地域住民の利便性・賑わい創出等の定性的な評価もしてほしい・ 事業者の選定において、価格以外の要素も評価対象として検討いただきたい	